

# みなさまからの 請願1件を審査

6月会議で審査された請願・陳情の結果をお知らせします。請願・陳情は、町政に対し意見や要望があるとき誰でも提出することができます。請願には紹介議員が必要ですが、陳情には必要ありません。

## 採択 推進を求める

### ヘルプマークのさらなる普及

◎請願者 公明党津幡支部津幡地区員

紹介議員 池田 邦三  
道下 政博  
(全員賛成)

主旨 義足や難病など、外見から分かりにくいハンディを持つ方が援助や配慮の必要性を周囲に知らせるヘルプマークを、導入・検討している自治体が増えている。しかし、認知度の低さによる課題も明らかになっている。必要な方が携帯すべきことはもちろん、マークの持つ意味の理解を広めることが重要であるため、心のバリアフリー推進事業などへの取り組みを強く求める。



▲全国で使われる東京都考案のヘルプマーク

採択された1件の請願は  
意見書を内閣総理大臣ほか  
関係機関に送付しました

# 先進地に学ぶ

## 委員会視察レポート

委員会で行った行政視察や研修で学んだことを報告します。

### 議会改革検討 特別委員会



▲改革の方向性を探る

4/11  
タブレットの導入と  
議会報告会を学ぶ  
(富山県南砺市)

▲【視察の目的】  
当町でも導入を検討中のタブレット端末の活用方法と平成25年から試行中の議会報告会の取り組みを学び、よりよい方法を模索する。

▲【研修内容】  
・タブレット端末  
会議システム、連絡・スケジュール管理の共有化、ペーパーレス化などに活用されている。現時点で大幅な経費削減効果は見られないが、効果的な議会運営や情報伝達が実現されている。  
・審議の充実や説明責任を果たすべくツールとしての可能性を、さらに模索する必要がある。  
・議会報告会  
議会基本条例に開催規定を設け、広報広聴特別委員会の申し合わせにより、年4回8会場を実施している。  
住民との意見交換の重視、開催日時やテーマの設定が重要であると感じた。

### 上下水道事業の 包括的民間委託を学ぶ

(石川県かほく市)

5/23



▲民間委託のメリット、デメリットは

### 総務産業建設 常任委員会

▲【視察の目的】  
上下水道施設の包括的民間委託の取り組みを視察、研修し、当町における課題を明確にする。

▲【研修内容】  
平成25年度以降、水道事業の一部は除かれるが、公共下水道事業、農業集落排水をあわせた3施設の管理業務を委託する包括的民間委託に移行した。それ以前の管理費用合計額は年間1億8000万円に達していたが、1500万円程度、率にして8%の削減効果をもたらしている。現在では、直営方式よりも安定した塩素濃度管理が実現されている。

課題は、民間委託による職員の技術力低下やノウハウの継承である。当町で導入の際は、これらを検討していく必要がある。

### 研修報告

5/28

研修会

町村議会議長・副議長  
研修会  
「町村議会議員の議員報酬のあり方」  
中間報告  
講師 江藤 俊昭氏  
など

## 6月会議の審議結果

(賛否の分かれたもののみを掲載しています)

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退席…退 除斥…除

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
議決結果	森川章	竹内竜也	井上新太郎	八十嶋孝司	西村稔	荒井克	森山時夫	角井外喜雄	酒井義光	塩谷道子	多賀吉一	向正則	道下政博	谷口正一	洲崎正昭	河上孝夫
議案	一般会計補正予算(第1号)…町道整備事業費など1億5827万円を増額する。	可決	賛14・反1	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○

※議長は採決に加わらないため「-」で表示

**議員の寄附行為は公職選挙法で禁止されています**

- 香典や結婚披露宴における祝儀 (本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く)
- 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること
- 町民や団体が議員に寄附などを求めること

このほか、議員活動に対して法律上の制限があります。各種会合への出席依頼には参加費を必ず明記してください。

**皆さまのご理解とご協力をお願いいたします**